



地域の方とのつながりを大切に

本校では、子どもたちが地域の方々との関わりを通して、学びや思いやりの心を深める活動を行っています。日常生活の中では気づきにくい地域の良さや人とのつながりを感じることで、子どもたちは学ぶ楽しさだけでなく、地域の一員としての自覚や感謝の気持ちも育てています。

■全校：敬老の日に向けたお手紙（8月）

敬老の日に向けて日頃お世話になっている地域の高齢者の方々へお手紙を書きました。登下校の見守りやさまざまな活動で支えてくださる皆さんに向けて、一人一人が心を込めて文章を考えました。「いつもありがとう」「これからも元気でください」といった思いを丁寧に綴る姿からは、日々の感謝の気持ちがあふれていました。お手紙を書くことで、地域の方々の存在の大きさや温かさを実感する貴重な機会となりました。



■2年生：まちたんけんで地域を再発見（11月～12月）

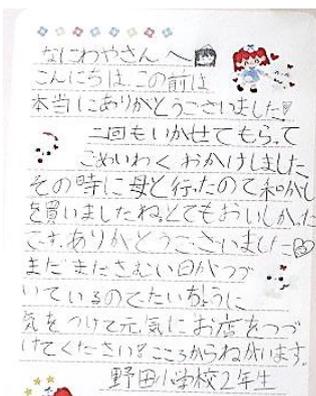
生活科の学習で行った「まちたんけん」は、11月から12月にかけて3回実施しました。子どもたちは、自分たちが住む野田のまちの様子や、人々の生活とのつながりを調べました。

初回は、学校の周りや家の近くの場所を歩き、なじみのある場所とあまり行ったことのない場所を比較しながら観察しました。子どもたちは「ここ、いつも通ってるけど気付かなかった！」と新しい発見に目を輝かせていました。

2回目は、前回歩いていない学校の西側をぐるっと1周。普段は通らない道や公園、施設を見ながら、「まちにはいろんな人が関わって生活しているんだな」と気づきました。子どもたちは地図に印をつけながら、地域の様子を整理していきました。

3回目は、グループに分かれて郵便局、コミュニティセンター、文具店、高齢者施設、理髪店、保育園、和菓子屋、米穀店などを訪問。そこで働く方々にインタビューをし、「どんな工夫で働いているか」「地域の人たちとどんな関わりがあるか」を熱心に聞き取りました。子どもたちはメモを取り、わかったことや気づきをワークシートにまとめました。訪問先の方々が丁寧に対応していただき、子どもたちは地域の温かさや人の優しさを実感することができました。

学習のまとめとして、学習用端末で作成したスライドを使い、大型モニターに映して発表しました。写真を見せながら施設の様子を紹介したり、クイズ形式で学んだことを友達に伝えたりする工夫も見られました。発表を通して、子どもたちは自分たちの住むまちの魅力や再発見し、地域への愛着をさらに深めることができました。また、まちたんけんでお世話になった方々へお礼のお手紙を書き、感謝の気持ちを伝えました。（※裏面に続く）



(※表面より)

■ 5年生：高齢者の方との交流（12月18日・2月12日・2月26日）

野田コミュニティセンターで行われる高齢者への食事サービスに参加し、交流を深めました。

1組は、「漫オワークショップ」で練習した漫才を披露したり、折り紙のプレゼントを渡したり、「愛の花」を歌ったりしました。最初は少し緊張していた子どもたちも、地域の方々の温かい拍手に笑顔を見せながら発表していました。

3組は、歌「キセキ」、ダンス「この地球の続きを」、歌「上を向いて歩こう」を披露しました。一人一人が心を込めてステージに立ち、丁寧に歌い上げる姿や、息の合ったダンスで会場を盛り上げる姿が印象的でした。会場からは自然と手拍子がわき上がり、発表後には大きな拍手が送られました。

2組は、これまで練習してきた南中ソーランを力いっぱい披露。大きな掛け声とそろった動きに、会場からはあたたかい拍手が送られ、子どもたちも達成感にあふれた表情を見せました。折り紙のプレゼントを直接渡す場面では、「ありがとう」と声をかけてもらい、子どもたちにとって貴重で心温まる交流の時間となりました。



■ 6年生：地域の歴史を学ぶ（1月26日）



社会科の学習では、1月に地域の方をお招きし、福島区の歴史について学びました。スライドや当時の資料を用いて、出来事の流れや当時の様子をわかりやすく説明していただき、子どもたちは熱心に耳を傾けました。地域の歴史や文化を学ぶことで、自分たちの生活と歴史とのつながりを理解し、地域への関心を高める貴重な学習となりました。

■ 6年生：お茶体験（2月2日）



地域の方をお招きし、日本の伝統文化「お茶体験」を行いました。お茶をたて、いただく一つひとつの所作には、相手を思いやる心が込められています。初めて抹茶を口にしたら子どもたちは「少し苦いけれどおいしい」と笑顔を見せ、会場には静かな時間が流れました。卒業を前に、「一期一会」の精神を肌で感じた、心に残る体験となりました。

■ 1年生：むかしあそび（2月6日）

生活科の学習で、子どもたちが「むかしあそび」に挑戦しました。講堂いっぱいに設けられたコーナーでは、こま回しやお手玉、あやとり、けん玉、めんこ、ヨーヨーなど、普段あまり触れない遊びにも目を輝かせて取り組みました。地域の方々は子どもたちの目線に合わせ、手を添えたり見本を見せたりしながら丁寧に教えてくださいました。初めはできなかった遊びも、何度も挑戦するうちに少しずつコツをつかみ、「できた!」「見て見て!」と笑顔で知らせる姿が見られました。活動の最後には、感謝の気持ちを込めて全員で歌「ゆき」を披露。元気いっぱいの歌声に会場はあたたかな拍手で包まれ、地域との心温まるつながりを実感する時間となりました。



地域とのつながりを大切にした学習活動を通して、子どもたちは、地域の方々の支えや優しさを肌で感じながら学び、人と人とのつながりの大切さを実感しています。今後も地域と学校がともに支え合い、子どもたちが豊かな心と学ぶ力を育む学びを大切にしていきます。

※「校長室だより」カラー版は、本校ホームページ「配布文書」にアップしています。